

『舞の本絵巻』の制作をめぐる諸問題

― 付、幸若舞曲の絵入り本一覽稿（増補改訂）

小林 健 二

要 旨

『舞の本絵巻』は江戸初期に刊行された絵入り版本「舞の本」三十六番を粉本に制作された大部で豪華な揃いの大型絵巻である。三十六番が絵巻として作られたと想定できるが、現在は散逸して国内外に十二軸十五番のものと六軸十一番の二系統の伝本が確認できる。それらを悉皆調査して「舞の本」から豪華な絵巻へと作られた様相を考察し、同時代の文芸享受史への位置づけをはかった。さらに、「舞の本」を粉本として豪華な絵本も同じ工房で作られたこと、これらの豪華な絵巻・絵本が松平家などの大名によって注文制作されたことにも言及した。また、現存する幸若舞曲を題材とした絵巻・絵本を概観できるように「幸若舞曲の絵入り本一覽稿（増補改訂）」を付した。

I 『舞の本絵巻』とは

『舞の本絵巻』について述べる前に、「舞の本」について説明しておく必要がある。「舞の本」とは、幸若舞曲の正本を読み物に転用したテキストの称であるが、狭義には江戸初期に刊行された幸若舞曲の絵入り整版本三十六番を指す。享和二年（一八〇二）に刊行された尾崎雅嘉編『群書一覽』によると、

入鹿・大職冠・百合若大臣・信田・満仲・伊吹・夢合せ・馬揃・浜出・築島・硫黄が島・文学・木曾願書・敦盛・那須与一・景清・伏見常葉・常盤問答・笛の巻・未来記・烏帽子折・腰越・堀川夜討・四国落・富樫・笈搜・八島・清重・高館・元服會我・和田酒盛・小袖會我・劍讚嘆・夜討會我・十番切・新曲

の三十六番の曲名があげられており、この揃いが一般的であったと考えられる。新日本古典文学大系59『舞の本』（平成六年、岩波書店）もこのセットで三十六番を所収している。ただし、寛文十年（一六七〇）に刊行された『書籍目録』の「物語草子并舞」では、「劍讚嘆」「夢合せ」の代わりに「鎌田」「和泉か城」を入れて、「劍讚嘆」「切兼會我」「静」「夢合せ」の四曲を番外として別掲するなど、多少の出入りはあったようだ。

さて、「舞の本」の刊行時期であるが、東洋文庫蔵丹緑本「文学」と岩瀬文庫蔵「清重」の刊記に「寛永九年（一六三二）壬申十二月／吉日中野氏道也梓」とあることから、寛永年間前半に書肆中野道也により出版されていたことは確かである。渡辺守邦氏は、五季文庫蔵の寛永五年刊『翻訳名義集』の表紙裏に貼り込まれた反故紙に二十三番の舞曲の名前が記されており、その曲目と「舞の本」三十六番の曲目が重なることを報告され、反故の書かれた時期が寛永六・七年頃であることから「舞の本」の刊行もその頃であろうとの見解を示されているが、首肯されるべき説であ

ろ⁽¹⁾う。

このセツトは需要があつたようで、東洋文庫には、「大職冠」「烏帽子折」「八島」「堀川夜討」「高館」の五番の版を新たにした三十六番の揃い本がある。この揃い本は版式はそのままに、本文は読み易さをはかつて句読点を施すなどの改訂が施され、また、挿絵はそれまでの構図を踏襲するものの画風は変わっており、従前の「舞の本」の挿絵を参照しながら新刻されていることが認められる。この新刻本は右五番中の「烏帽子折」に「寛永十二年（一六三五）乙亥二月吉日開板之」という刊記があり、岩瀬文庫に単独に存する新刻の「敦盛」にも「寛永十二年正月吉日開板之」の刊記があることから、寛永十二年に刊行されたことが分かるが、ともあれ、新刻がなされるほど「舞の本」は人気があつたことがうかがえよう。

II 幸若舞曲とその絵本・絵巻

次に、幸若舞曲についても簡単に触れておきたい。幸若舞曲とは室町時代に流行した語り物芸能で、幸若舞・曲舞・舞々・舞とも称される。その淵源は曲舞という中世芸能であり、鎌倉時代に流行した白拍子舞の芸系を継ぐものと言われている。「舞い」とは書くが、中世における貴顕の日記類に「曲舞を聞く、聴聞する」という記事が多く見られるように、主として謡い聞かせる芸能であつたようだ。能楽の大成者である世阿弥の伝書によると、「道の曲舞」という曲舞専門の芸能者は一部を除いて室町初期に衰退していったようだが、各地の声聞師などの散所民が余芸として演じ伝え、十六世紀には猿楽と並ぶ人気芸能となった。特に若狭国田中を本拠とする幸若大夫が優れた芸を演じ、織田信長などの戦国大名に重用されるようになる。この芸能を幸若舞曲と称するのも幸若大夫に由来するのである。その内容

であるが、初期の曲舞は寺社の縁起などを語り聞かせる短いものであったようだが、応仁・文明の乱あたりを境にして軍記物を素材とした長編の物語が語られるようになった。現在は約五十曲のレパートリーがテキストとして残っており、そのほとんどは義経物・曾我物・源平物・太平記などの軍記や、藤原鎌足などの英雄の物語、地方豪族の盛衰を扱った物語などを題材としている。

ところで、室町時代後期あたりから、物語や語り物が絵巻や絵本に仕立てられる文化現象がおこってくる。最も多くの材料を提供したのはお伽草子と呼ばれる物語群であり、次に多いのが幸若舞曲である。現在、管見によると、絵巻・絵本に仕立てられた幸若舞曲は約三〇〇点を数え、その一覽を付録として後に掲げた。絵入り本に作られた理由は、内容がお伽草子と同様に絵画化するのに相応しかったことと、長くても三巻程度という分量が適していたためと考えられる。語り物芸能としての幸若舞曲は、江戸時代に入ると浄瑠璃などに取って代わられ衰退してしまうが、一方で読み物として享受され、絵入り本化されるようになる。そして、その絵巻や絵本は、「舞の本」三十六番が流布した江戸前期を境に大きく変化する。すなわち「舞の本」が刊行された以後に作られた絵巻・絵本のほとんどは「舞の本」を粉本として作られたもので、その代表的な作例が次に取り上げる『舞の本絵巻』なのである。

Ⅲ 『舞の本絵巻』の諸本

『舞の本絵巻』は、版本「舞の本」を粉本として製作された大型の豪華絵巻で、チェスター・ビーティー・ライブラリー（以下、CBL）に所蔵される絵巻六軸が早くから知られていた。⁽²⁾ その簡単な書誌を示すと次の様である。

○書写年時、江戸前期（寛文・延宝頃）の写。

○外題、金色地の題簽の上半分に「三十六番舞」と墨書され、下半分にその巻に所収される以下の曲名が記される。
巻一「ゆりわ□」、巻二「高たち」、巻三「ふしみときは・ときはもんたう・いるか」（但し、「いるか」は曲名のみにて本文はなし）、巻四「景□」、巻五「笛のまき・未来記・剣さんたん」、巻六は外題の墨書不明。

○内題、各曲の冒頭に以下の曲名が記される。巻一「ゆりわか大臣」、巻二「高たち」、巻三「景清」、巻四「伏見ときは・常葉もんたう」、巻五「笛のまき・未来記・つるきさんたん」、巻六「たいしよくはん」。巻序は箱書き外題の順による（但し、箱書き題には巻六の題は記されていない）。

○寸法、紙高は三三・五センチ。長さは各軸二〇メートル前後。

○字高、約二九・〇センチ。

○表紙、紺地に金緑の獅子牡丹唐草綾文様。

○見返し、金箔地布目押し文様。

○料紙、鳥の子で草花・流水・網代など金泥の下絵文様が描かれる。

○用字、漢字平仮名交じりで、一行の字詰めは二十四字前後とかなり詰めて書かれる。それ故、長編の作品（例えば「大職冠」は通常二〜三軸）も一軸に収められる。三十六番を絵巻に仕立てるとなると大部になるので、詞書はなるべくコンパクトに収めたのであろう。

○書体、『太平記絵巻』の詞書筆者と同じ筆跡と認められる。⁽³⁾

○挿絵、細密濃彩の大和絵で、挿絵中のすやり霞が輪郭線を用いずに金の砂子を散布したように施されるのが特徴。
○箱、素材は桐。蓋表の右に「三十六番舞」と墨書され、右から左へ「ゆりわか・ふしみときは・ときはもんたふ・

□□・笛のまき・未来記・□さんたん／高たち・景清」の曲名が二段に墨書される。さらに左上に読みづらいが「□

ら絵」と墨書される。

右のようであるが、外題と箱書に「三十六番舞」と記されることから、三十六番すべてを絵巻化したものであることが知られ、少なくとも二十軸以上の豪華絵巻のセットであったと推測される。これは林原美術館蔵『平家物語絵巻』二十四軸に匹敵するもので、近年発見された某家蔵『源平盛衰絵巻』十二軸⁽⁵⁾や海の見える杜美術館蔵『保元・平治物語絵巻』十二軸⁽⁶⁾、埼玉県立歴史と民俗の博物館等蔵『太平記絵巻』十二軸⁽⁷⁾よりも規模が大きい揃い物であったと想像されるのである。

ところで、CBL本の連れと思しき絵巻として、ニューヨーク公共図書館スペンサー・コレクション蔵「夜討曾我」一軸が知られていたが、他にも慶応義塾図書館蔵「伊吹」一軸（零本）、同じく「なすの与市」一軸（絵抜き本）⁽⁹⁾、國學院大學図書館蔵「きよ重」一軸⁽¹⁰⁾、聖徳大学川並記念図書館蔵「敦盛」二軸（もとは一軸）⁽¹¹⁾が認められ、最近、ベルリン東アジア美術館蔵「烏帽子折」一軸が新たな連れ絵巻として加わることとなった⁽¹²⁾。この内、CBL本と同じく原装で残存しているのはスペンサー・コレクション本「夜討曾我」とベルリン東アジア美術館本「烏帽子折」（ただし題簽は欠けている）である。慶応本の「伊吹」は後半の三分の一ほどが残っている零本で、「なすの与市」は詞書は完存するものの挿絵は抜かれており、両本とも改装されている。また、國學院本「きよ重」や聖徳本「敦盛」も改装本である。しかし、これらの改装本は詞書や挿絵、料紙に施された下絵模様の特徴からCBL本の連れと判明するのである。

ともあれ、これまでに十二軸十五番が確認されるものの、本来は三十六番があったわけでまだ半分程度しか見つかっていないことになる。

IV まう一つの『舞の本絵巻』

ところで、CBL本系統とは別の「舞の本」三十六番を絵巻にした作例が存在している。日本大学総合学術情報センター蔵の「幸若舞曲集」(912.2 Ko. 95. 1) 卷子本五軸は、紙高が三〇センチ以上の豪華絵巻であり、詞書がCBL本と同じく『太平記絵巻』の筆跡なので、一時はCBL本の連れと思われていた。しかし、挿絵の画風が異なるのと、料紙の下絵が金泥の霞み引き模様のみであるのが異なっており、また、その見返しに三つ葉葵の丸紋散らし文様が施されていることが、なによりもCBL本とは別本であることを示している。次に書誌をあげる。

○書写年時、江戸前期(寛文・延宝頃)。

○外題、金色霞引き地の題簽にその巻に所収される以下の曲目名が記される。巻一「太しよくわん」、巻二「もんかく・ゆめあはせ・馬そろへ」、巻三「多ほし折」、巻四「小袖曾我・十番切」、巻五「元服曾我・和田さかもり」。

○内題、各曲の冒頭に以下の曲名が記される。巻一「大職冠」、巻二「文覚・夢あはせ・馬そろへ」、巻三「多ほし折」、巻四「小袖曾我・十番切」、巻五「元服曾我・和田さかもり」。

○寸法、紙高は三三・七センチ。長さは各軸二〇メートル前後。

○字高、約二九・〇センチ。

○表紙、紺地に金欄の梅菊花立涌文様。

○見返し、金箔の格子地模様に乗三つ葉葵の丸紋を散らした空押し文様。

○料紙、鳥の子で金泥霞引き下絵文様。

○用字、漢字平仮名交じりで、一行の字詰めは二十八字前後とかなり詰めて書かれる。

○書体、『太平記絵巻』と同じ筆跡と認められる。

○挿絵、細密濃彩の大和絵で、挿絵中のすやり霞が輪郭線を用いずに金の砂子を散布したように施されるのはCBL本と同趣向。

○備考、各軸の冒頭は十行くらいで散らし書きとなり挿絵と続く。これはこの系統の絵巻の特徴である。

なお、これと同系統の絵巻として久米アートミュージアム（甲子園学院美術資料館）に所蔵される「木曾願書」一軸と「屋し満」一軸がある。この二軸は改装されており、もとは一軸であったと思われる。日本本と同じく巻頭の十行から十四行で散らし書きとなつて挿絵第一図へと続く書写の形態であり、改装故に見返しの三つ葉葵の丸紋は確認できないが、挿絵の画風や詞書の書体、そして料紙の下絵が金泥の霞み引き模様のみであることなどから日本本の連れであると判断できる。とすると、この系統は今のところ日本本の五軸九番と久米アートミュージアム本の二軸二番（もとは一軸）の計六軸十一番が確認できるわけであるが、これも本来はCBL本系統と同じく三十六番すべてが絵巻に作られていたのであろう。ここに「舞の本」三十六番をすべて大型絵巻にするという企画が二例あったことが認められ、しかも、その豪華な体裁は良く似ており、詞書の筆者が同一であることから、同じ工房で製作された可能性が浮上してくるのである。

V 「舞の本」を粉本とした揃いの絵本

ところで、「舞の本」を絵入りにしたものは絵巻だけではなかった。近年、海の見える杜美術館の所蔵となつた「舞の本」を題材とした絵本は、三十六番（「あつもり」と「十番切」は上巻を欠く）を大型の絵本四十七冊に仕立てたも

のである。⁽¹³⁾ 『舞の本絵巻』に対して、仮に『舞の本絵本』と呼んでおこう。その書誌を次に記す。

○書写年時、江戸前期（寛文・延宝頃）。

○外題、表紙の左肩に金霞引き・金砂子散らし文様の題簽を貼り曲名を墨書する。

○内題、なし。

○寸法、各縦三〇・一×横二二・五センチ。

○箱、塗りの二段箱入り。箱書きはなし。

○表紙、紺地に金泥で下絵（草花等）と霞引を描き、金の砂子と切箔を散らした装飾を加えたもの。

○見返し、布目押し金箔貼り。

○挿絵、細密濃彩の大和絵。挿絵数は全二百八十九図（内、見開図三十八図、五丁連続図一図）におよぶ。絵師は数人の手が入っていると見られる。

○書体、詞書の筆跡は一手で、『太平記絵巻』と同一筆者と思われる。

○料紙、本文の料紙は金泥で霞引き草木花等の下絵模様が描かれ、または、摺り模様（飛雲散らし・花紋菱繋ぎ・石畳・毘沙門亀甲地信夫丸散らし）が施される。

○蔵書印、各冊巻首に「游焉館圖書」の朱長方印が捺される。游焉館は豊後府内藩二万一千石の藩校で、この蔵書印により豊後松平（大給）家から游焉館に移管されて伝来したことが判明し、松平家によってあつらえられたことが知られる。

○それぞれの外題と冊数、挿絵図数は次の通り。（ ）内は見開き図数。

「いるか」一冊六図・「ゆりわか」二冊十三図（二図）・「した」二冊十五図（二図）・「まんちう」二冊十二図（二図）・

「いふき」一冊八図（二図）・「伏見ときは」一冊九図・「つきしま」二冊十二図（三図）・「いわうか嶋」一冊四図（一図）・「もんかく」一冊十一図（一図）・「夢あはせ」一冊四図・「馬そろへ」一冊四図（二図）・「木曾願書」一冊四図・「あつもり」下一冊六図巻上欠・「景清」二冊十六図（一図）・「九穴貝」一冊四図（一図）・「常葉もんたう」一冊六図・「笛のまき」一冊五図・「未来記」一冊四図・「鞍馬出」一冊五図（二図）・「えほし折」二冊十三図（二図）・「こしこへ」一冊五図・「ほり川夜討」一冊九図・「四国落」一冊六図（一図）・「とかし」一冊七図（二図）・「笈さかし」一冊七図・「屋しま」二冊十一図（三図）・「きよしけ」一冊七図・「高たち」二冊十四図（三図）・「元服會我」一冊六図（一図）・「和田さかもり」二冊十図（四図）・「小袖會我」一冊七図（一図）・「剣さんたん」一冊六図（一図）・「夜討會我」二冊十二図（二図および五丁連続図一図）・「十番切」下一冊六図（巻上欠）・「張良」一冊五図（一図）・「新曲」二冊十図（二図）。

右のようであるが、「舞の本」三十六番中の「大職冠」「那須与一」「浜出」の三番が欠けており、その代わりとして三十六番に入っていない「鞍馬出」「九穴貝」「張良」の三番が新調して後補される。『舞の本絵本』は刊行された絵入りの「舞の本」を粉本に制作されているのであるが、この三番については今のところ版本は見つかっておらず、どの本に拠って作られたかの追求はこれからの課題となる。⁽¹⁴⁾

この揃いの絵本はCBL本や日本本の『舞の本絵巻』と詞書が同じ筆跡で、挿絵もCBL本と画風が近く、両本を比べると多少の違いはあるものの、同構図が多いことから、同じ工房で製作されたものと思われる。とすると、この時期に、「舞の本」を粉本とした二種類の絵巻と絵本一種類が同じ工房で製作されていたことがうかがえるのである。このような豪華な揃いの絵巻・絵本は特別注文で作られたものと考えられ、日本本や海の見える杜本が徳川家・松平家の旧蔵であったことから、大名家の注文により制作されたものであると分かるのである。

さらに、石川透氏が報告されるように、この『舞の本絵巻』と同じ筆跡の大型絵巻として、

▽『太平記絵巻』元は十二軸か。現在、次の十軸が確認される。

埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵、(一・二・六・七・十巻)五軸。ニューヨーク公共図書館スペンサーコレクション蔵、(三・八巻)二軸。国立歴史民俗博物館蔵、(五・十一・十二巻)三軸。

▽『源平盛衰記絵巻』十二軸 京都某家蔵(水戸徳川家旧蔵)。

▽『保元・平治物語絵巻』十二軸 海の見える杜美術館蔵。

の三点が認められるが、これらも大型の豪華な揃い本であり、同じ工房で製作された可能性が出てくるのである。しかも、『源平盛衰記絵巻』は水戸徳川家の旧蔵であり、やはりしかるべき大名家の注文により作られていたとうかがわれる。今後は、このような軍記や幸若舞曲を題材とした大部の絵巻が、大名家により制作された目的を考えていく必要がある。とても単に鑑賞するためのものとは思えないのである。

VI 『舞の本絵巻』の挿絵

『舞の本絵巻』が、江戸前期頃刊行の「舞の本」を粉本としていることは、絵巻の詞書と、該当する「舞の本」の曲目の本文がほぼ同じであることから明かであるが、挿絵は、図数は同じながら、まったく単純に版本の絵をコピーして描いているわけではない。一般に版本を粉本にする場合、挿絵に関しては絵師の裁量によって独自の図柄を描き込むことがまま見受けられる。ただその場合も、構図の左右を逆にしてみたり、主要ではない人物や景物を増やしたりと画題の内容には触れないものが多い。しかし、『舞の本絵巻』の場合はそれだけではなく、挿絵によっては本文を

読み込んで、その物語内容を表現している場合が認められるのである。

以前に、CBL本「百合若大臣」の挿絵第十一図において、百合若が船で本国に帰還する場面、「帆柱の蟬口に、八大龍神ごとごとく面を並べ座せられたり。船の船先には不動明王の降魔の利剣を引つ提げて、金剛堅固の索の縄、悪魔を寄せじと守護せらるる」の本文に合わせて、絵巻には船の帆柱に龍神が巻き付き船先に不動明王が立つ図柄を加えていること、また「景清」の終曲近く、討った景清の首を頼朝が実検する場面、版本の挿絵が景清の首であるのに対して、本文に「よく／＼見奉れば、千手の御頭にておはします」とあるように、絵巻では観音の首に代わった奇跡を描いていることを取り上げたことがある。⁽¹⁶⁾

また、聖徳大学本「敦盛」についても、第四図の熊谷直実が平敦盛の上に馬乗りになって組み伏せ、首を掻き切ろうとする場面で、両絵はほぼ同じ図柄になっているが、版本の挿絵では敦盛は甲を被ったままであるのに対して、絵巻では直実が敦盛の甲を取りはがし、髻をつかんでまさに首を掻き切ろうとする描写となっているのは、本文に、「甲ちぎりてがらりと捨て、腰の刀ひん抜いて首を取らんとしたりしが」とあるのを忠実に絵面化したことや、挿絵第六図の直実が差し出した敦盛の首を義経が実検する場面で、版本では馬上の義経に向かって直実が三方の上に首置いて差し出すのに対して、絵巻は首を抱えて床几に座った義経に見せる図様となっており、さらに義経が笛を手持った姿で描かれるのは、本文に「あら、不思議や。この笛は、某が見知るところの候」と、義経が敦盛の笛のことに触れ、その来歴について詳しく述べることと関係する件について論じた。⁽¹⁷⁾

つまり、これらの場面には、絵巻の挿絵が版本の図柄を模しているだけではなく、物語内容を読み込んで画面に反映させようとする絵師の意図がうかがえるのである。このことは、『舞の本絵巻』が「舞の本」の挿絵を縮小再生産するのに終わらず、新しい視覚文芸としてより物語に則した作品世界を描出していると評価できよう。

さて、『舞の本絵本』と版本の挿絵については、星瑞穂氏が「奈良絵本『舞の本』と版本の挿絵の関係性」で一覽表を作成して示しており、「入鹿」「景清」で首を刎ねる残酷な場面を避けて図柄を替えている点をあげ、絵師の解釈と
いうよりは注文主の意向による変更である可能性を指摘している。また、「伊吹」の僧形である清盛の姿を物語に則した鳥帽子狩衣姿に描き換えているのは、しかるべき製作統括者がいてなされることと推測しているが、両説とも傾聴すべき見解である。さらに版本との比較をすすめていけば新たな問題が見えてこよう。



ここでは、最近、熟覧した際に気がついたことを述べたい。細かいところだが、筆者の眼を引いたのが、「満仲」における景物の描写である。一つは幸寿丸が母親と最後の別れをする場面【図版参照】で、版本の挿絵では屋敷の一室で幸寿と母が対面する図柄となっており、絵本もほぼ同じ構図で描かれる。ところが、よく見ると右の縁側の板絵に「雪持ちの芭蕉」が描かれているのである。芭蕉は夏の植物であり、雪持ちの芭蕉は現実には有り得ない無常やはかないことの譬えに引かれるもので、中世に連歌や和歌の世界で育まれたイメージである。この芭蕉図は、美女御前の身代わりとなつて父に討たれる幸寿丸のはかない命を象徴するモチーフとして、絵師が書き添えたと考えられよう。もう一つは、仲光が斬つた幸寿丸の首を妻（幸寿の母）のもとに持参し、それを見て母が嘆き悲しむ場面である。版本の挿絵では、屋敷の一室で母が幸寿丸の首を抱いて泣き崩れ、それを見て仲光も傍らの女房も泣き入るといふ場面が描かれ、絵本もほぼ同じ構

図・図柄となっている。ただ、絵本の挿絵には庭の籬に「朝顔」の花が盛んに咲いている様子が描かれているのである。物語でこの場面を朝顔の季節と特定できる記述はない。朝顔も朝咲いて夕べには萎んでしまうことからなかなかや無常に譬えられる花である。ここでも絵師は、美女御前の身代わりに若くして空しくなった幸寿を象徴するものとして朝顔の花を描いたのではなからうか。つまり、『舞の本絵本』の絵師は物語の行間をも読んで挿絵を描いたと推測されるのである。もちろん、これは『舞の本絵巻』にも言えることである。

Ⅶ 海北友雪の画風と作例

『舞の本絵巻』が「舞の本」三十六番を忠実に絵巻化しているならば、「舞の本」にあつて絵巻のない、残りの十二曲分（C B L系と日本本系に見られる以外の曲）も絵巻が作製されたと想定できる。三十六番もの舞の本絵巻が整作されていたとしたら、二十〜二十五軸ほどの絵巻がセットで作られたことになり、これは近世前期の絵巻史上において画期的な事業と言えよう。このような大部で豪華な揃い物絵巻の制作は一介の町書肆の手によるものではなく、かなりしつかりとした制作統括者がいて、作業を行ふ工房がなければ実現しないであろう。

ところで、この絵巻における挿絵の画風と詞書の筆跡がよく似た例として、『太平記絵巻』が指摘されている。『太平記絵巻』は前に述べたように十二巻中八巻の現存が報告されているが、同じような大部で豪華な揃い物絵巻として注目されるのである。その挿絵の絵師について、美術史研究の宮次男氏は、

絵の作風はどうであろうか。そこに描かれている対象は、山水・樹石・建造物・人物などいずれも明瞭に描き出され、風俗図屏風や近世の彩色絵本に共通する明快性と通俗性があつて、これらの性格は、かかる絵画作品を専

ら生産した近世絵屋の作品に共通する作風といえる。しかし、この絵巻独自の個性も存在している。(中略)

それは特に人物の面貌に指摘される。すなわち、天皇・皇族・公卿など、身分の高い階級の人物は繊細な墨線を巧みに使って、細い目に鉤鼻風の鼻と小さな口をもたせて上品な面貌に表しており、あまりはげしい感情表現は行われていない。これに対し、武者たちの表情は、細勁で鋭い墨線を駆使して、その面貌には当事者の感情が示されている。そして、その感情表現は目と口に集中して行われている。また、あまり役割をもたない庶民層でも、それなりの感情表現が行われており、その筆致と表情は近世初期の画家・海北友雪の人物表現にしばしば見られるものと共通している⁽¹⁹⁾のである。

と、作風が近世の絵屋の作品に通じると分析され、さらに狩野派の流れを汲む海北友雪の人物表現の特徴と共通することを述べている。

海北友雪は江戸初期の画家で、名は「道暉」、「友雪」と号した。慶長三年(一五九八)生まれで、海北友松の子とされるが養子の可能性もある。父の死後しばらくは絵屋(特別注文の絵画だけでなく大量生産の仕込絵の製作やより工芸的な仕事もした町絵師)の小谷忠左衛門として生計を立てたが、友松が一時世話をした春日局の推挙により、徳川家光から江戸屋敷を拝領し、その用命を受けることとなった。海北姓を名乗るのはそのころからと推定される。以後、明暦・寛文・延宝期の内裏の障壁画制作に参加し、後水尾上皇などの宮廷の御用も勤め、法橋にも叙せられた。延宝五年(一六七七)の没である。作風は父の友松よりも大和絵や江戸狩野様式からの影響が強く認められるとされ、代表作に妙心寺麟祥院(春日局の菩提寺)「雲竜図襖絵」、「祇園祭礼図屏風」(京都・八幡山保存会蔵)、「厳島図屏風」(個人蔵)などとともに、『徒然草絵巻』二十軸(サントリー美術館蔵)の挿絵があげられる。これは宮氏の分析によると、『徒然草』二百四十四段殆どすべてが絵画化されていて、しかも、詞・絵ともに完備しているもので、『徒然草』が現

在の序段から二百四十三段に段分けされたのは北村季吟の『徒然草文段抄』からであり、従って、この絵巻も寛文七年以降の作例とされる。同時代の土佐派や町絵師の手になる作品とは趣を異にして、比較的淡彩で潤沢な画趣をもち、これにて統一されているとされる。⁽²⁰⁾

『徒然草絵巻』は『太平記絵巻』の濃彩細密の画風とは異なるので比較の仕様が異なるが、東京富士美術館蔵『源平合戦図屏風』六曲一双（右隻「一ノ谷合戦図」・左隻「屋島合戦図」）は友雪の署名と落款を有する作例になり、軍記物語の絵画化として『太平記絵巻』『舞の本絵巻』の絵師を考える場合に参考となる。結論から言うると似ているが若干作風が異なるように見える。なお、埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵『一の谷合戦図屏風』六曲一双（右隻「熊谷直実図」・左隻「平敦盛図」）も友雪の署名・落款を持つ作品で、美術史研究家の山根有三氏は、

一の谷合戦図屏風は、「海北友雪斎筆」の落款と「海北」の朱文壺形印および「友雪」の白文方印をもつ六曲一双で、武者絵として描法においては特に取り立てて述べるほどの特色をもっていないが、構図はちよつと類例をみない。左右とも屏風中に大きく一つの扇面形を画し、右双は扇面形内を金箔地、外を群青の波とし、左双は内を波、外を金地とする。いかにも奇抜な意匠である。狩野派その他にこのような構図があるのを寡見にして知らない。私はかかる意匠感覚こそ、友雪が絵屋時代に会得したものではないかと思うのである。⁽²¹⁾

と評価するものだが、画風は東京富士美術館の『源平合戦図屏風』と共通するものの『太平記絵巻』とは微妙に違っている。従って、『舞の本絵巻』の挿絵が海北友雪の筆とは断じられないが、海北派の町絵師によって描かれた可能性はあろう。このように推測するのは、海北派が挿絵を描いた物語絵巻が存するからである。

スペンサーコレクション蔵の『酒典童子絵巻』三軸は、外題「酒典童子 中（下）」（上巻、題簽剥落）、内題「酒呑童子 上（中・下）巻」とする、紙高が三二・五センチの大型絵巻である。軸頭が金属（真鍮）製であり、梅鉢が施

されることから、前田家の旧蔵がうかがえる作例である。その各挿絵に「元貞」の朱方落款印が押されているが、この「元貞」とは海北友竹のことなのである。友竹は承応三年（一六五四）に、海北友雪の次男として生まれ、享保十三年（一七二八）に没した、江戸時代前期・中期の狩野派の画家である。名は道親、のちに元貞、通称は権兵衛、道香と号した。宝永六年（一七〇九）京都御所造営の時に、清涼公卿の間、学問所西の方三の間、仙洞御所常御所物置などに画を描き、城之崎温泉寺の掛け幅縁起図も描いている。その友竹が物語絵の『酒典童子絵巻』の挿絵を描いているのであるから、海北派が「舞の本」の絵巻・絵本の作画に関わっていたことは十分に考えられるのではなからうか。

VIII 一応のまとめ

以上、これまで述べたことを箇条書きにまとめてみよう。

○寛永時代に出版された絵入り整版「舞の本」三十六番を粉本として、豪華で大部な『舞の本絵巻』が作られた。

○『舞の本絵巻』はCBL本系統と日大本系統の少なくとも二種類が作られ、さらに海の見える杜美術館の『舞の本絵本』も作製された。

○それらの絵巻と絵本は、CBL本と海の見える杜本の挿絵が似ていることと、三本の詞書の筆跡が共通することなどから、ほぼ同時期に同じ工房で作られたと推測できる。

○それらの絵巻・絵本を注文したのは、徳川家や松平家のような大名であった。

○このような豪華で大部な大型絵巻は、他にも『太平記絵巻』『源平盛衰記絵巻』『保元平治物語絵巻』などあるが、

体裁や詞書の書体が一致すること、また挿絵の画風が似ていることから同一の工房で作られた可能性がある。

○『舞の本絵巻』『舞の本絵本』は絵入り版本「舞の本」を粉本としているが、その挿絵は、独自に本文を読み込んで描き加えた図柄が認められる。

○『舞の本絵巻』『舞の本絵本』の挿絵の絵師は、海北派などの町絵師であった可能性がある。

以上のようなことが言えるのではないだろうか。江戸時代の前期（十七世紀の後半）にこのような豪華で大部な大型絵巻が作られたのは単に文芸の視覚化の一環としてだけではなく、一つの文化現象としてとらえるべきであろう。『舞の本絵巻』『舞の本絵本』が投げかける意味は大きいものである。

〈注〉

- (1) 渡辺守邦「寛永時代の出版事情―表紙裏の反古・その二」（日本書誌学大系五十四『古活字版伝説』昭和六十二年、青裳堂書店）。
- (2) 国文学研究資料館・The Chester Beatty Library 共編『チェスター・ビーター・ライブラリー絵巻絵本解題目録』解題篇（平成十四年三月）。
- (3) 石川透「太平記絵巻筆奈良絵本・絵巻類」（『奈良絵本・絵巻の生成』平成十五年、三弥井書店）。
- (4) 小松茂美編『平家物語絵巻』（平成二〇四年、中央公論社）。
- (5) 加美宏・狩野博幸編『源平盛衰記絵巻』（平成二十年、青幻社）。
- (6) 石川透・星瑞穂編『保元・平治物語絵巻をよむ 清盛栄華の物語』（平成二十四年、三弥井書店）。
- (7) 宮次男・佐藤和彦編『太平記絵巻』（平成四年、河出書房新社）。

- (8) 反町茂雄編『スペンサーコレクション蔵 日本繪入本及繪本目録』(昭和五十三年、弘文荘)。
- (9) 『慶應義塾図書館蔵 中世散文 解題図録』(平成十四年五月、古典資料研究会)。
- (10) 國學院大學研究開発推進機構 校史・學術資産研究センター編『國學院大學所蔵古典籍解題 中世散文文学篇』(平成二十六年、学校法人國學院大學)。
- (11) 小林健二「聖徳大学所蔵『敦盛』繪卷の本文と解説」(辻英子編『在外日本重要繪卷選』【研究編】平成二十六年、笠間書院)。
- (12) ベルリン本については二〇一六年八月「奈良繪本・繪卷国際会議」(於、慶應義塾大学)において酒井公子氏が研究発表「ベルリン本「烏帽子折」繪卷の分析と紹介」で詳しく紹介された。
- (13) 石川透・星瑞穂編『海の見える杜美術館蔵舞の本をよむ 武将が愛した舞の世界の物語』(平成二十六年、三弥井書店)。
- (14) 小林健二「幸若舞曲とお伽草子」(『お伽草子百花繚乱』平成二十年、笠間書院)。
- (15) 石川透「太平記繪卷筆奈良繪本・繪卷類」(『奈良繪本・繪卷の生成』平成十五年、三弥井書店)。
- (16) 小林健二「中世劇文学の研究―能と幸若舞曲」(平成十三年、三弥井書店)。
- (17) 小林健二「聖徳大学所蔵『敦盛』繪卷の本文と解説」(辻英子編『在外日本重要繪卷選』【研究編】平成二十六年、笠間書院)。
- (18) 石川透・星瑞穂編『海の見える杜美術館蔵 舞の本をよむ 武将が愛した舞の世界の物語』(平成二十六年、三弥井書店)。
- (19) 宮次男「太平記繪卷について」(『太平記繪卷』平成四年、河出書房新社)。

(20) 宮次男「海北友雪筆 徒然草絵巻」(『古美術』四〇号、昭和四十八年三月)。

(21) 山根有三「絵屋について」(『美術史』四十八、昭和三十八年三月)。

(22) (8) の反町スペンサー目録に96「大江山酒天童子 寛文頃写 奈良絵本 三巻」とあるもの。

〈謝辞〉

海の見える杜美術館をはじめ資料の調査にご高配をいただいた諸機関に厚く御礼を申し上げます。また、本稿はJSPS
科研費J26370224の助成を受けての研究成果であることを明記する。

幸若舞曲の絵入り本一覽稿（増補改訂）

現在、幸若舞曲を題材とした絵入り本は国内外に相当な数が存していると思われるが、舞曲の絵入り本研究の基礎作業として、舞曲を絵巻・絵本にしたもの、及び絵入り版本として刊行されたものがどの程度現存するかを把握するために、かつて「幸若舞曲の絵入り本一覽稿」を作成し『中世劇文学の研究―能と幸若舞曲』（平成十三年、三弥井書店）に収載した。その後の調査で新たに知り得た資料を加えて、ここに増補改訂した一覽を示すこととする。なお、幸若舞曲を画題とした屏風絵や扇面画帖も存するが、今回は明らかに絵巻・絵本を貼った屏風やメクリのみを取り上げることにした。収載の方針と参考にした主な文献は次の通りである。

「凡例」

イ、写本・版本を問わずに、絵入り本のある舞曲テキストの曲名を列べて見出しとした。さらに、版本をA項に、写本をB項として挙げ、版本については、古活字版から「舞の本」までの情報を掲げた。

ロ、A項については、絵入り古活字版がある曲は【古活字】と示し、丹緑彩色の施された絵入りの古活字版がある場合は【古活字丹緑】と示して、その下に所蔵・所載を記した。

ハ、「舞の本」に先行して刊行された寛永中刊の丹緑本は【寛永丹緑】と示し、その下に所蔵・所載を記した。

ニ、明暦頃刊の「舞の本」が存する曲には【舞の本】と示した。但し、句切り点が入られた新刻版がある場合は、【舞の本・新刻】と併記して示した。

ホ、B項目の記事は「所蔵（掲載書目）、絵本・絵巻の別、形態・大きさ、製作時期、数量」の順で記した。

へ、形態・大きさは、横本の場合は「絵本横本」、大型縦本の場合は「絵本大本」、半紙本の場合は「絵本半紙」、未見資料で判別がつかない場合は「絵本」とだけ記した。

ト、製作時期の時代区分の表記は次を目安とした。

「室町末」——天正から慶長初年まで、「江戸初」——慶長中頃から慶安まで、「江戸前」——承応から延宝まで、「江戸中」——天和から宝永・正徳まで

右のように表示したが、もとより絶対的なものではない。江戸中期は常識的な文学史区分からすると期間が短いが、絵入り本の作製の下限がほぼその時期になるための区切りである。また、未見の資料は依拠した文献に記載されている年時を尊重して記した場合もある（例えば「寛文延宝」など）ので、表記も一定でないことをお断りする。未見資料で依拠した文献に製作年時が記されていない場合は、特に記さなかった。

チ、参考文献や付記などは備考として（ ）内に記したが、影印は◎、翻刻は○、図版のある解題・紹介は●、関連する論文には※を付して示した。またWEB上でデジタル公開しているものは「R」を示した。「参考文献」で掲げた蔵書目録・解題類は関係が明瞭なのであえて記すことをしなかった。

リ、版本の「舞の本」三十六番を粉本に作られた揃いの『舞の本絵巻』は▽、『舞の本絵本』は▼を行頭に付して示し、各曲資料の所在情報の末にまとめて記した。

又、各曲資料の所在情報で明らかに関係の認められる場合（売立目録から所蔵者）は↓で示した。

〔主な参考文献〕

〈目録・解題〉

『天理図書館稀書目録』『大東急記念文庫貴重書解題』『中京大学図書館蔵国書善本解題』『王舎城美術宝物館近世

物語絵展図録』『逸翁美術館蔵国文学関係資料解題』『大阪青山短期大学所蔵品図録第一・二輯』『大阪青山短期大学創立二十周年記念所蔵展観目録』『スペンサーコレクション蔵日本絵入本及絵本目録』『チェスター・ビーティライブラリー蔵日本絵入本及絵本目録』『チェスター・ビーティライブラリー蔵日本絵入本及絵本目録』『慶應義塾大学図書館絵蔵 中世散文 解題図録』『國學院大學所蔵古典籍解題 中世散文学篇』『岩崎文庫貴重書書誌解題Ⅷ 東洋文庫 絵本コレクション』

〈古書店目録〉

『弘文莊待価賣古書目録総索引』『思文閣古書資料目録』『玉英堂稀覯本書目』『東京古典籍下見展覧大入札会目録』『臨川書店和洋古書善本特選目録』

〈その他、関連資料〉

小野忠重『本の美術史―奈良絵本から草双紙まで』（河出書房新社、昭和53）、吉田小五郎『TANROKUBON』（講談社インターナショナル、昭和59）、麻原美子「在外「舞の本」をめぐって」（『日本女子大学文学部紀要』33、昭和58）、「チェスター・ビーティライブラリー所蔵絵巻絵本解題目録稿」（国文学研究資料館『調査研究報告』十五号、平成6・3）、ベルント・イエッセ「フオレッチ・コレクション奈良絵本群について」（『学習院女子短期大学国語国文論集』24、平成7・3）、『物語絵 奈良絵本と絵巻に見る古人のこころ』（平成18、海の見える社美術館）、石川透『入門 奈良絵本・絵巻』（平成22、思文閣出版）、石川透『奈良絵本・絵巻の宇宙 カラー版』平成22、慶應義塾大学ORC（奈良絵本）、石川透・星瑞穂編『舞の本をよむ 武将が愛した舞の世界の物語』平成26、三弥井書店。

〔増補改訂 幸若舞曲の絵入り本一覽稿〕

1、入 鹿

A 【寛永丹緑】弘文荘 35・45、思文閣 173、「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 東京大学国文学研究室 絵本絵抜き 江戸前 一冊。

思文閣 183 絵本大本 寛文延宝 一冊。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本四十七冊の内）↓前項の思文閣 183 と同じ絵本。

以下、連れの三十六曲の絵本に関してはまったく同情報なので、「思文閣 183」の項目は省略して当該項目に「↓思文閣 183 と同」とのみ記すこととする。

2、大織冠

A 【古活字丹緑】九州大学文学部、彰考館（下欠）、銚子市円福寺。【寛永丹緑】天理図書館、彰考館、大阪中之島図書館。【舞の本・新刻】。

B 慈受院 絵巻 室町末 二軸（◎◎恋田知子『大織冠絵巻 薄雲御所慈受院門跡所蔵』平成 22、勉誠出版、○恋田

知子『仏と女の室町』平成 20、笠間書院）。

天理図書館 絵本大本 室町末 一冊。

天理図書館 絵本横本 江戸中 三冊。

中京大学図書館 絵本大本 寛文 三冊。

東京大学国文学研究室 絵本横本 江戸前 三冊。

国立国会図書館 絵本大本 江戸初 三冊。

大阪大谷大学 絵本横本 江戸前 三冊 (○福田晃・真鍋昌弘編『幸若舞曲研究九』平成8、三弥井書店。大阪大谷大学図書館 HP「貴重圖書の紹介」 <http://www.osaka-ohtrani.ac.jp/facilities/library/valuable.html>)。

九州大学文学部 絵本横本 江戸前 三冊。

國學院大学図書館 絵本大本 江戸初 一冊。

國學院大学図書館 絵本横本 江戸前 二冊 (國學院大學図書館 EDB「デジタルライブラリー(貴重書・コレクション)の画像データ」 <http://kaiser.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html>)。

志度寺 絵巻 江戸初 二軸 (奥書「著者 青蓮院尊純親王 繪 土佐光起 志度寺常什物」) (○広島女子大学国語国文学研究室編『幸若舞曲(二)』昭和53、溪水社)。

浄照坊 絵巻 (絵抜き) 江戸前 一軸。

富美文庫 絵巻 江戸 二軸 (中巻欠) (●中部義隆「大織冠絵巻」(富美文庫蔵)と七左衛門尉安信」(『美のたより』168、平成21、大和文華館)。

石川透氏 絵本大本 慶長頃 (挿絵断簡三枚)。

鹿児島女子大学 絵本横本 元禄年間 絵本横本 三冊。(○伊牟田経久 清水勝 山崎桂子「本学所蔵の奈良絵本『大織冠』について」『鹿児島女子大学研究紀要』19-2、平成10・3)

龍谷大学図書館 絵本横本 江戸前 三冊 (龍谷大学図書館 EDB「貴重資料画像データベース」

<http://www.afc.ryukoku.ac.jp/kicho/top.html>)

大英図書館 絵本大本改装絵巻 室町後期 下巻のみ一軸 (奥書「藤原行長」印) (○奈良絵本国際研究会編『在

外奈良絵本』昭和56、角川書店）。

大英図書館 絵本大本 室町末江戸初 三冊。

大英図書館 絵本横本 江戸初 二冊。

大英図書館 絵本大本 江戸末 一冊（絵は長尺で折り畳んで納められる）。

フォレッツ・コレクション 絵本横本 元禄頃 三冊。

スペイン・コレクション 絵巻 寛文三軸（◎辻英子編『日本絵巻物抄』平成14、笠間書院、○辻英子『在外日本絵巻の研究と資料』平成11、笠間書院）。

スペイン・コレクション 絵本横本 寛文三冊。

シカゴ美術館 絵本大本 江戸前 三冊。

パーク・コレクション 絵巻 十七世紀中頃 三軸（○辻英子『在外日本絵巻の研究と資料』平成11、笠間書院）。

ケルン東洋美術館（●メラニー・トレデー「ケルン東洋美術館所蔵「大織冠絵」の受容美学的考察」『美術史』46
1、平成8・10。●文化財保存修復学会編『ケルン東洋美術館 絵画』平成11、文化財保存修復学会）。

弘文荘 20 絵本極大型 寛文頃 一冊。

弘文荘 20 絵巻 寛文頃 三軸。

弘文荘 33 絵巻 三軸（伝尊純親王筆土佐光則画）。

弘文荘敬愛 2 絵巻 寛文頃 三軸。

思文閣 103 絵本大本 江戸初 二冊。

思文閣 140 絵本横本 元禄頃 三冊。

- 思文閣 148 絵本改装絵巻 詞書なし 寛文頃 一軸。
- 思文閣 149 絵本横本 元禄頃 三冊。
- 思文閣 155 絵巻 寛文延宝 三軸。
- 思文閣 208 絵本大本 室町末 一冊。
- 三都連合古典会 41 絵本 元禄頃 二冊。
- 東京古典会昭和 50 絵本横本 寛文 三冊。
- 東京古典会昭和 58 絵巻 寛文延宝 三軸。
- 東京古典会昭和 58 絵巻 三軸。
- 東京古典会昭和 59 絵巻 寛文 三軸。
- 東京古典会昭和 59 絵巻 寛文 二軸。
- 東京古典会昭和 63 絵巻 (詞書なし) 寛文延宝 二軸。
- 東京古典会平成 2 絵本改装絵巻 江戸前 二軸。
- 東京古典会平成 6 絵巻 寛文 二軸。
- 東京古典会平成 7 絵本横本 延宝 三冊。
- 東京古典会平成 9 絵巻 寛文延宝 三軸。
- 東京古典会平成 10 絵巻 寛文延宝 三軸。
- 東京古典会平成 20 絵巻 寛文延宝 三軸。
- 玉英堂 247 絵巻 寛文延宝 三軸↓東京古典会平成 10。

臨川書店 日本書古書目録 79 絵本横本 江戸前 三冊。

臨川書店 古典籍特選優品目録平成 13 年春期待集号 絵本横本 江戸前 三冊。

臨川書店 古典籍特選優品目録平成 13 年春期待集号 絵本半紙 江戸前 三冊。

臨川書店 日本古書目録第 81 号平成 14 年 1 月 絵本横本 江戸前 三冊。

中尾松泉堂 古典目録平成 14 年 1 月 絵巻 江戸中 二軸。

臨川書店 和洋古書善本特選目録春期待集号平成 15 年 2 月 絵本横本 江戸前 三冊。

臨川書店 和洋古書善本特選目録春期待集号平成 15 年 2 月 絵巻 江戸前 三軸（縦一七・二種の小絵巻）。

臨川書店 和洋古書善本特選目録夏期待集号平成 15 年 7 月 絵本横本 江戸前 三冊。

臨川書店 和洋古書善本特選目録夏期待集第 16 号平成 20 年 6 月 絵巻 江戸前 三軸（小絵巻）。

思文閣 223 絵本大本 寛文延宝 三冊。

二〇一二年 国際稀観本フェア（思文閣） 絵本大本 寛文延宝 三冊。

▽ チェスター・ビーティ・ライブラリー 絵巻 寛文 六軸の内。

▽ 日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

3、百合若大臣

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」 成簀堂。【舞の本】。

B 天理図書館 絵本大本 江戸初 一冊（上巻のみ）。

大阪大谷大学 絵本改装（絵のみ） 江戸初 一軸（大阪大谷大学図書館 E7 「貴重図書の紹介」

<http://www.osaka-ohitani.ac.jp/facilities/library/valuables.html>）。

國學院大学図書館 絵本横本 二冊。

日本大学総合学術情報センター 絵本横本 江戸前 三冊。

国立東京博物館「百合若物語」絵巻 江戸前 三軸(◎◎麻原美子「東京国立博物館蔵『百合若物語』絵巻の紹介(図版・翻刻)と、舞の本『百合若大臣』絵巻についての考察」『日本女子大学紀要』文学部 47、平成10・3)。

大英図書館 江戸前 絵巻 三軸(○奈良絵本国際研究会議編『在外奈良絵本』昭和56、角川書店)。

ハーバート大学フォッグ美術館 絵本横本 三冊。

パリ中央図書館 絵本 江戸前 一冊。

石川透氏絵巻 寛文頃 一軸(◎『古典資料研究』17、平成20)。

弘文荘 14 絵本 古写 一冊。

東京古典会昭和54年 絵本 江戸前 絵のみ14枚。

玉英堂 274 絵本横本 寛文延宝 二冊(中巻欠)。

▽チエスター・ビーティ・ライブラリイ 絵巻 寛文。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 二冊(府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

4、信 田

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 海の見える杜美術館 絵本 桃山 屏風貼交。

東洋文庫 絵本 大本 江戸前 二冊(財団法人東洋文庫所蔵 画像・動画データベース 奈良絵本・挿絵など)

http://124.33.215.236/gazou/index_img.php?ig=nara。

大阪青山美術文学博物館 絵本横本 江戸前三冊。

学習院大学日本語日本文学科 絵本横本 一冊。

フォレッチ・コレクション 絵本半紙本 三冊。

ライデン国立民族学博物館 絵巻 三軸（奥書「草紙屋 城殿和泉掾藤原尊重」印）（●平山郁夫・小林忠編著『秘

蔵日本美術大観9』平成5、講談社）。

佛敎大学図書館蔵零本四十四面・石川透氏蔵十五面、徳田和夫氏蔵二面、合わせて六十一面。絵本大本 江戸初。

（◎岡田美穂「佛敎大学図書館・石川透氏蔵舞曲『信田』―影印、翻刻、解題―」『京都語文』第12号、平成17・11）。

三都古典連合会昭和47 絵本横本 寛文三冊。

東京古典会昭和56 絵本横本 江戸初三冊。

東京古典会平成6 絵本横本 寛文延宝三冊。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝二冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183と同。

5、満仲

A 【古活字丹緑】弘文荘13・45（↓大英図書館）。【寛永丹緑】「TANROKUBON」、弘文荘27・35、成簀堂。

【寛永丹緑】京都大学附属図書館（◎京都大学文学部国語学国文学研究室編『京都大学蔵むろまちものがたり8』平成13、臨川書店。京都大学電子図書館「京都大学附属図書館所蔵 奈良絵本 丹緑本コレクション」

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/nindex.html>）↓無刊記。寛永整版の復刻か。【舞の本】。

B 天理図書館 絵本大本 室町末二冊（◎天理図書館善本叢書『古奈良絵本集二』昭和50、八木書店）。

東洋文庫 絵本大本 江戸初 二冊（財団法人東洋文庫所蔵 画像・動画データベース 奈良絵本・挿絵など）

http://124.33.215.236/gazou/index_img.php?lg=nara。

東京大学国文学研究室 絵本横本 江戸前 一冊（上巻のみ）。

北海道大学附属図書館 絵本横本 江戸前 三冊。

大阪大谷大学 絵本横本 江戸前 三冊（○福田晃・真鍋昌弘編『幸若舞曲研究九』平成8、三弥井書店。大阪大

谷大学図書館 HP「貴重図書を紹介」 <http://www.osaka-ohrui.ac.jp/facilities/library/valuables.html>）。

愛媛大学附属図書館 絵巻 二軸（※藤田恵子『多々乃まん中』絵巻の考察』『愛文』25号、平成2・1）。

岩瀬文庫 絵本横本 江戸前 三冊（●『西尾市岩瀬文庫蔵御伽草子・奈良絵本解題図録』奈良絵本・絵巻国際会議、

平成16）。『越境する絵ものがたり』西尾市岩瀬文庫、平成28）。

國學院大学図書館 絵本横本 寛文頃 三冊。

大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 江戸初 二冊。

大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 改装絵巻 文明十三年 二軸（奥書「文明十三年辛丑九月下三降雨日書之」）（※

小林健二「幸若舞曲とお伽草子」『お伽草子百花繚乱』平成20、三弥井書店）。

石川透氏 絵本半紙 元禄頃 挿絵断簡四枚。

シカゴ美術館 絵本横本 江戸中 二冊。

弘文荘 16 絵本 寛文 三冊。

思文閣 155 絵本大本 江戸初 二冊。↓大阪青山歴史文学博物館。

思文閣 178 絵本大本 改装絵巻 文明十三年 二軸。↓大阪青山歴史文学博物館。

潮音堂書籍典籍目録 11 絵本大本 江戸初 断簡二幅。

思文閣 206 絵本大本 桃山期 断簡一幅（藤井永観文庫旧蔵）。

『京都古書籍・古書画資料目録』第12号（平成23・5）断簡一幅 室町末 元は大型奈良絵本。

『京都古典会即売目録』（平成24・10）断簡二幅（藤井永観文庫旧蔵） 室町末 元は大型奈良絵本。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 二冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓思文閣 183。

6、鎌田

A 【古活字丹緑】東洋文庫（◎）『幸若舞曲 御伽草子』昭和49、貴重本刊行会。「財団法人東洋文庫所蔵 画像・動

画データベース 奈良絵本・挿絵なう」http://124.33.215.236/gazou/index_img.php?tg=nara。

【寛永丹緑】「TANROKUBON」。

B 大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 改装絵巻 室町末 一軸。

思文閣 122 絵本 改装絵巻 室町末 一軸。 ↓大阪青山歴史文学博物館。

7、伊吹

A 【舞の本】。

B 思文閣 155 絵巻 寛文延宝 一軸（上巻のみ、下巻欠）。

東京古典会平成9 絵巻 江戸初 一軸（巻首少欠）。

第二回「たかしまや古書の街総合目録」平成10・6 絵巻 江戸初 一軸。同右の絵巻 ↓慶應義塾大学図書館。

オックスフォード大学ボドリアン図書館附属日本研究図書館 絵本横本 江戸前 二冊。

個人蔵 伊吹落図屏風 六曲一隻（絵巻の下巻を貼ったもの。なんでも鑑定団）

<http://blog.livedoor.jp/otakarajoho/archives/6607225.html>。

▽慶応義塾大学図書館 絵巻 江戸前一軸（チェスター・ビーティの絵巻と連れ）。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。

8、伏見常盤

A 【古活字】早稲田大学演劇博物館。【古活字丹緑】天理図書館。【寛永丹緑】「FANROKUBON」。【舞の本】。

B 赤木文庫旧蔵サントリ―美術館 絵巻 室町末一軸（○伝承文学資料集第12輯『室町期物語二』昭和60、三弥井書店）。

大阪市立美術館 絵本大本改装絵巻 室町末一軸。

東京国立博物館 絵本大本 室町末一冊（前後一部欠の零本）。

天理図書館 絵本横本 江戸初二冊。

大東急記念文庫 絵本大本 江戸初二冊。

逸翁美術館 絵本大本 江戸初二冊（○伝承文学資料集第12輯『室町期物語二』昭和60、三弥井書店）。

藤園堂 絵本横本 江戸初一冊（○伝承文学資料集第12輯『室町期物語二』昭和60、三弥井書店）。

岩瀬文庫 絵本横本 江戸初二冊（○『伝承文学研究』14〜15号、昭和47・5〜48・12）。

蓬左文庫 絵本横本 江戸前二冊。

富美文庫 絵本横本 江戸二冊。

石川透氏 絵本横本 寛文頃 挿絵断簡九枚。

オックスフォード大学ボドリアン図書館附属日本研究図書館 絵本横本 江戸前二冊。

東京古典会平成 8 絵本大本 室町 一冊。挿絵一九図。

二〇一二年国際稀覯本フェア（一誠堂） 絵本大本 室町末期 一冊 挿絵十八図（見開き四、片面十四図）。

臨川書店日本書古書目録79 絵本横本の挿絵断簡 江戸前 九図。

東京古典会平成13 絵本横本の挿絵断簡 江戸前 九図↓右と同。

臨川書店和洋古書善本特選目録平成17年春期特集号 挿絵断簡 江戸前 九図↓右と同。

中尾松泉堂 絵本大本 桃山期 一冊。

▽チェスター・ビーティ・ライブラリイ 絵巻 寛文六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183と同。

9、築 島

A【古活字丹緑】●水谷不倒『古版小説挿画史』に図版あり、十一行本。青裳堂古書目録「奇書」平成15年 慶長

前期 古活字丹緑 大本三冊。十一行本、挿絵十四図（欠二図？）、内題なし。水谷不倒が『古版小説挿画史』に図版を載せた本とは別版（※小林健二「幸若舞曲とお伽草子」『お伽草子百花繚乱』平成20、三弥井書店）。

【舞の本】。

B日本民芸館 絵巻 室町末 二軸（◎『つきしまるかや 素朴表現の絵巻と説話画』平成25、日本民藝館）。

中京大学図書館 絵本大本 江戸初 一冊。

中京大学図書館 絵本横本 江戸初 一冊（下冊のみ）（○徳竹由明「中京大学図書館蔵横型奈良絵本『築島』下巻略

解題・翻刻」『中京大学文学部紀要』41、平成19）。

海の見える杜美術館 絵本大本二種 桃山期 貼交屏風。

東京大学国文学研究室 絵本横本（絵抜き） 江戸前二冊。

東洋文庫 絵本横本 江戸前 三冊。

実践女子大学 絵本横本 江戸前 三冊。

東京国立博物館 絵巻 江戸初 二軸（○問屋真一「絵巻にみる「築島」——東京国立博物館蔵「経ヶ島縁起」を中心に」「神戸女子大学古典芸能研究センター紀要」6、平成24）。

大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 屏風貼交 江戸初 六曲一双。

大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 上巻のみ 桃山 一冊。

某家蔵 絵本大本 足利期 一冊（昭和47年6月25日於円珠庵『松泉堂書莊蔵奈良絵本と絵巻展覧目録』大阪国文学談話会）。

某家蔵 絵本横本 江戸初 三冊（昭和47年6月25日於円珠庵『松泉堂書莊蔵奈良絵本と絵巻展覧目録』大阪国文学談話会）。

東京古典会昭和43 絵本大本 江戸初 二冊（残冊）。

東京古典会平成6 絵本大本 桃山 二冊。

東京古典会平成8 絵本横本 江戸前 一冊（下冊のみ、挿絵八図）↓中京大学図書館。

東京古典会平成9 絵本大本 桃山 二冊↓東京古典会平成6。

八勝堂古書目録10平成10 絵本大本 桃山 二冊↓東京古典会平成9。

八勝堂古書目録16平成14 絵本大本 桃山 二冊↓東京古典会平成9。

平成17『京都古書籍・古書画資料目録』6号 奈良絵貼り交ぜ屏風一隻「つきしま」他 室町末く江戸初 奈

良絵二十四枚。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝二冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。
10、硫黄が嶋

A【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。
11、文覚

A【寛永丹緑】東洋文庫「寛永九年十二月中野道也」(◎『幸若舞曲 御伽草子』昭和49、貴重本刊行会)。【舞の本】。

B 大谷大学図書館 絵本横本二冊（●大谷大学図書館報12『書香』平成3・1）。

絵本横本二冊（小野忠重『本的美術史』による）。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。

12、夢合せ

A【舞の本】。

B ▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183と同。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

13、馬揃

A【舞の本】。

B 大阪青山歴史文学博物館 絵巻 江戸初一軸（伝白川雅喬筆）（○福田晃・真鍋昌弘編『幸若舞曲研究九』平成8、

三弥井書店)。

井上書店古典籍特輯目録一九八二 絵巻 寛文延宝 一軸。

東京古典会昭和60 絵巻 寛文延宝 一軸 ↓大阪青山歴史文学博物館。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

14、木曾 願書

A 【舞の本】。

B 思文閣 129 絵巻 寛文延宝頃 二軸 (「屋島軍」と一具)。

思文閣 250 絵巻 江戸前 一軸。

▽甲子園学院美術資料館久米アートミュージアム 絵巻 二軸 (日本大学総合情報センターの絵巻と連れ) ↓思文閣

129。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

15、敦 盛

A 【古活字丹緑】水谷不倒『古版小説挿画史』。【寛永丹緑】岩瀬文庫「寛永十二年正月吉日 開版之、

「TANROKUBONJ」。【舞の本】。

B 京都府立総合資料館 絵本横本 江戸初 二冊 (京都府立総合資料館「京の記憶アーカイブ」

<http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail/224976>)。

須磨寺 横本絵本改装絵巻 江戸初 二軸 (©問屋真一「絵入り幸若舞曲「敦盛」について―新出の須磨寺本絵巻を

中心に―』『神戸市立博物館研究紀要』32、平成28・3）。

内藤記念くすり博物館 絵本横本 江戸初 上巻のみ一冊（内藤記念くすり博物館 収蔵品デジタルアーカイブ）
<http://www.eisai.co.jp/museum/information/facility/archive/index.html>。

ホノルル美術館 絵本大本 江戸前二冊。

東京古典会平成9 舞の本絵巻 江戸初期 写二軸。

▽聖徳大学川並記念図書館 絵巻 江戸前二軸（もとは一軸、チェスター・ビーティの一連の絵巻と連れ）（◎）「聖

徳大学所蔵『敦盛』絵巻の本文と解説」辻英子編『在外日本重要絵巻選』【研究編】平成26、笠間書院）↓東

京古典会平成9。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 下のみ一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。

16、那須与一

A 【寛永丹緑】大東急記念文庫。【舞の本】。

B 東京古典会平成9 絵巻 絵なし 江戸初 一軸。

第二回「たかしまや古書の街総合目録」平成10・6、絵巻 絵なし 少欠字有 江戸初 一軸↓東京古典会平成9。

▽慶應義塾大学図書館 絵巻 江戸初 一軸（チェスター・ビーティの一連の絵巻と連れ）↓右と同。

石川透氏 絵巻か？ 江戸前 一葉。

17、景清

A 【古活字丹緑】東洋文庫（◎）『幸若舞曲 御伽草子』昭和49、貴重本刊行会。【寛永丹緑】「FANROKUBON」・

弘文荘32。（◎）土田衛編『愛媛大学古典叢刊19 景清』昭和52）。【舞の本】。

B 慶應義塾大学図書館 絵本 江戸初 二冊。

小田原宝物館 絵本 二冊 (徳田和夫氏の御教示)。

▽チェスター・ビーティー・ライブラリー 絵巻 寛文 六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 二冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

18、浜出

A 【舞の本】 ↓ 渋川版御伽草紙

B 東京大学国文学研究室 絵巻 江戸中 一軸。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 一冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓ 思文閣 183。

19、常盤問答

A 【寛永丹緑】 東洋文庫二点、大阪青山歴史博物館、国立国会図書館、「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 中京大学図書館 絵本 横本「鞍馬常盤」 江戸初 一冊 (○『やごと文華』創刊号、昭和 56・5)。

石川透氏 絵本 半紙本 元禄頃 挿絵断簡五枚。

弘文荘 22 絵本 元禄 二冊。

弘文荘 33 絵本 元禄 二冊。

一誠堂書店創業一〇〇周年記念、古典籍善本展示即売会目録 絵本 大本 室町末 一冊。

東京古典会平成 28 絵本 大本 室町末 一冊 ↓ 右と同。

▽チェスター・ビーティー・ライブラリー 絵巻 寛文 六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 一冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓ 思文閣 183 と同。

20、山中常盤

A 【寛文十年絵入り整版】

B 東京大学国文学研究室 絵本（絵抜き） 江戸前二冊。

21、笛巻

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 石川透氏 絵本半紙本 元禄頃 挿絵断簡四枚。

弘文荘20 絵本 寛文延宝 一冊。

立教大学図書館 絵巻 江戸前一軸（○「立教大学図書館蔵絵入り資料解題（前篇）」『立教大学大学院日本文学論

叢』16号、平成28・9）。

▽チエスター・ビーティ・ライブラリイ 絵巻 寛文六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓思文閣 183。

22、未来記

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B オックスフォード大学ボドリアン図書館附属日本研究図書館 絵本大本 江戸前一冊。

▽チエスター・ビーティ・ライブラリイ 絵巻 寛文六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓思文閣 183。

23、鞍馬出（関原与一）

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓思文閣 183。

24、烏帽子折

A 【寛永丹緑】東洋文庫二点。【舞の本・新刻】。

B 大阪青山歴史文学博物館 絵本大本 室町末二冊↓思文閣 129。

逸翁美術館 絵本改装絵巻 零本 室町末江戸初 一軸。

京都大学附属図書館 絵本大本 室町末江戸初二冊 (◎京都大学文学部国語学国文学研究室編『京都大学蔵むろ

まちなものがたり2』平成13、臨川書店。京都大学電子図書館「京都大学附属図書館所蔵 奈良絵本 丹緑本コ

レクシオン」 <http://edb.kulih.kyoto-u.ac.jp/exhibit/mindex.html>。

奈良県立図書館 絵本横本 絵抜き (絵一枚存) 寛文頃 三冊。

京都国立博物館 絵本大本改装絵巻 室町末江戸初二軸。

実践女子大学 絵本横本 江戸前 三冊。

奈良教育大学 絵本横本 江戸前二冊 (中巻欠) (奈良教育大学HP「奈良絵本」

<http://www.nara-edu.ac.jp/LIB/collection/nara-ehon/ehon.htm>)。

白田甚五郎氏 絵巻 一軸 (奥書「狩野松林藤原悼信圖」印)。

手銭記念館 烏帽子折物語絵巻屏風 室町末〜江戸初期 六曲一双 (絵巻を屏風に貼ったもの) (○小川陽子「翻刻

手銭記念館蔵『烏帽子折屏風』『山陰研究』4、島根大学法文学部山陰研究センター、平成23・12)。

絵本横本 二冊 (小野忠重『本的美術史』による)。

石川透氏 絵本横本 元禄頃 三冊。

石川透氏 絵巻か？ 江戸前断簡一葉 (●石川透編『奈良絵本・絵巻解題図録』平成15、奈良絵本・絵巻国際会

議)。

思文閣 150 絵本横本 元禄頃 二冊。

東京古典会昭和 61 絵本大本 二冊。

東京古典会昭和 62 絵本改装絵巻 安土桃山 二軸 (題「うしわかまる」)。

▽ベルリン東アジア美術館 絵巻 江戸前一軸 (チェスタービーティー絵巻の連れ ※*Sakai Kimiko und Melanie*

Trede Eine neu entdeckte japanische Querrolle im Museum für Asiatische Kunst, Berlin. Teil I (OSTASIATISCHE

ZEITSCHRIFT NEUE SERIE, NR. 32 HERBST 2016))。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 二冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

25、腰越

A 【舞の本】。

B 石川透氏 絵本横本 元禄頃 挿絵断簡四枚。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊 (府内藩旧蔵揃い本の内) ↓思文閣 183。

26、堀河夜討

A 【寛永丹緑】天理図書館。【舞の本・新刻】。

B 大英図書館「堀河夜討もの語」 絵本大本 江戸前 二冊。

神奈川県立歴史博物館 絵巻 江戸前 二軸 (狩野洞雲益信筆)。

石黒傳六氏蔵絵本一冊 (昭和 10 年「軍戦記展覧会目録」(石川県図書館協会)に所載。「幸若ノ堀河夜討ニ繪ヲ附

シタルモノトミラル」と記される。落合博志氏の御教示。

東京古典会平成13 堀河夜討絵巻 狩野友川姉千代女筆 江戸後 彩色二軸（但し、幸若舞曲か？）。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

徳田和夫氏 メクリ 江戸前。

東京国立博物館 十七世紀 絵巻 二卷（東京国立博物館 画像検索 <http://webarchives.tnm.jp/imgsearch/index>）。

國學院大學図書館 絵巻 江戸中 一軸（國學院大學図書館 HP 「デジタルライブラリー（貴重書・コレクション

の画像データ）」 <http://kaiser.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html>）。

↓思文閣 250 絵巻 江戸前 二軸。

27、四 国 落

A 【舞の本】。

B 天理図書館 絵本横本 絵抜き 江戸初 一冊。

スペインサー・コレクション 絵本 寛文 一冊。

岩瀬文庫 絵本横本 江戸初 二冊。

一誠堂古書目録 73 平成 3 絵本横本 寛永 一冊（下欠）。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

28、 静

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」、弘文荘 22、舞鶴市立西図書館（下欠）。

B 天理図書館 室町末 奈良絵本 一冊（◎『古奈良絵本集』昭和 50、八木書店）。

根津美術館 伝一位局筆 絵巻。

京都大学文学部 冊子改装絵巻 江戸初 二軸（◎京都大学文学部国語学国文学研究室編『京都大学蔵むろまちものがたり 1』平成12、臨川書店）。

国文学研究資料館 絵本 屏風張込 江戸初 六曲一双（国文学研究資料館エロ「新・奈良絵本データベース」
<http://basel.nijl.ac.jp/~naraehon/>）。

国文学研究資料館 絵本特大 江戸前 二冊（国文学研究資料館エロ「新・奈良絵本データベース」
<http://basel.nijl.ac.jp/~naraehon/>）。

國學院大学図書館 絵本横本 寛文頃 一冊（もとは二冊の合綴）。

大阪大谷大学 絵本大本 改装（上巻のみ） 江戸初 一冊。

蓬左文庫 絵本 江戸前「静物語」一冊。

富山市立図書館山田孝雄文庫 絵本横本 江戸初 一冊（巻末一部欠）。

石川透氏 絵本横本 寛永頃 下巻のみ一冊。

フォレッツ・コレクション 絵本 下巻一冊。

米国議会図書館 絵本大本 室町後 二冊（○辻英子『聖徳大学人文学部研究紀要』5・6、平成6・7年。後に

『在外日本絵巻の研究と資料』（平成11、笠間書院）に所収（国際日本文化研究センターエロ「奈良絵本データベース」
<http://www.nichibun.ac.jp/graphicversion/dbase/naraehon/index.html>）。

栗山町小林家蔵 絵本横本 江戸前（現状は解体して三十枚が裏打ちして保存される。本来は二冊本か？林晃平氏の御教示）。

弘文荘 14 絵本 寛永 上下巻合一冊。

思文閣 109 絵本 江戸初 一冊。

東京古典会昭和 36 絵巻 寛文頃？「しづか物語絵巻」二軸。

三都連合古典会昭和 39 絵巻 江戸初「しづか絵巻」二軸。

三都連合古典会昭和 39 絵本 合一冊↓弘文荘 14c。

三都連合古典会昭和 41 絵本 横本 室町 一冊。

三都連合古典会昭和 47 絵巻 江戸中 二軸。

29、富樫

A 【寛永丹緑】天理図書館、「TANROKUBON」。【舞の本】。

B ▼海の見える杜美術館 絵本 大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

30、笈 搜

A 【古活字丹緑】天理図書館。【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B ▼海の見える杜美術館 絵本 大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

31、八 島

A 【古活字丹緑】竜門文庫。【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本・新刻】。

B スペンサーコレクション「屋島尼公物語」絵巻 足利中期 伝一位局筆 二軸（◎◎奈良絵本国際研究会編『在外

奈良絵本』昭和 56、角川書店）。

大和文華館「忠信物語・次信物語」絵本 大本 改装 桃山 二軸（◎◎徳江元正「大和文華館蔵「次信・忠信物語」

- （絵巻二軸）『大和文華』66、昭和55・3。泉万里「幸若舞曲「八島」とその絵画」『大和文華』113、平成17）。
- 大阪青山歴史文学博物館 絵巻 江戸前三軸。
- 広島大学 絵本大本 江戸前 一冊下巻のみ（○浅野日出男「やしまのさうし」『山陽女子短期大学研究紀要』17号、平成3・3）。
- 広島県某真宗寺院 絵本大本 江戸初二冊（○五条小枝子「奈良絵本「やしま」（仮題）―解題ならびに翻刻」『広島女子大学文学部紀要』28、平成5。※五条小枝子「奈良絵本『やしま』（仮題）考―画図の展開を中心として」『広島女子大学国際文化学部紀要』1、平成8）。
- 石川透氏 絵本大本 慶長頃 挿絵断簡一枚。
- オックスフォード大学ボドリアン図書館附属日本研究図書館 絵巻 江戸前二軸。
- 玉英堂 202 絵本大本 桃山二冊。
- 屋島寺 縦型絵本改装絵巻 江戸前一軸。
- 思文閣 129 絵巻 寛文延宝頃二軸（「木曾願書」と一具）↓甲子園学院。
- 三都連合古典会 41 絵本 三冊（時代・体裁等不明）。
- 東京古典会昭和60 絵巻 寛文三軸。
- 東京古典会平成7 室町末の絵本「屋島尼公物語」の絵の部分二葉。
- 東京古典会平成8 絵本横本 江戸初二冊（中・下冊、挿絵十図）。
- 一誠堂古書目録85平成9 絵本横本 江戸初（中・下冊）。↓平成8 東京古典会。
- 臨川書店日本古書目録79 絵本横本二冊（中・下冊）↓平成8 東京古典会、一誠堂古書目録85。

臨川書店古典籍特選優品目録平成13年春期特集号 絵本改装絵巻 江戸初 四軸。

臨川書店和洋古書善本特選目録平成13年夏期特集号 絵本改装絵巻 江戸初 四軸。

臨川書店和洋古書善本特選目録平成15年夏期特集号 絵本大本 江戸前 三冊。

臨川書店和洋古書善本特選目録夏期特集第16号平成20年6月 絵本大本 江戸前 三冊。

個人蔵 大本挿絵のみ 江戸初 十六枚(◎泉万里「幸若舞曲「八島」とその絵画」『大和文華』113、平成17)。

▽甲子園学院美術資料館久米アートミュージアム 絵巻 二軸(「木曾願書」と一具。日本大学総合情報センターの絵巻と連れ) ↓ 思文閣129。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 二冊(府内藩旧蔵揃い本の内) ↓ 思文閣183。

32、和泉が城

A【寛永丹緑】吉田小五郎、「TANROKUBON」、成實堂文庫(○渡辺亜紀「寛永版舞の本・番外曲解題と翻刻(一)」「和泉が城」(内題『いつみ』)——『実践国文学』52、平成9・10)。

B 東京大学国文学研究室 絵本横本 江戸初 一冊(下巻のみ)。

白百合女子大学 絵本横本 江戸前 二冊(白百合女子大学図書館EOP「貴重書ライブラリー」

<http://www.shirayuri.ac.jp/lib/about/collection/rare.html#A011>)。

思文閣113 絵本横本 江戸初 二冊。

33、清重

A【寛永丹緑】岩瀬文庫「寛永九年壬申十二月／吉日中野氏道也梓」、「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 東京古典会平成9 絵巻 江戸初 一軸。

34、高館

一誠堂古書目録平成十年秋号 絵巻 江戸初〜前一軸↓平成9 東京古典会。

臨川書店和洋古書善本特選目録春秋特集号平成15年2月 絵巻 江戸初一軸↓平成9 東京古典会。

臨川書店和洋古書善本特選目録春秋特集号平成15年11月 絵巻 江戸初一軸↓平成9 東京古典会。

臨川書店和洋古書善本特選目録春秋特集号平成17年1月 絵巻 江戸初一軸↓平成9 東京古典会。

臨川書店和洋古書善本特選目録夏期特集第16号平成20年6月 絵巻 江戸初一軸↓平成9 東京古典会。

▽國學院大学図書館 絵巻 江戸前一軸（チェスター・ビーティーの絵巻と連れ）↓平成9 東京古典会。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣183。

A 【古活字】断簡（川瀬一馬『増補古活字版之研究』）。【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本・新刻】。

B 大東急記念文庫 絵本 横本 室町末 三冊。

河野信一記念文化館 絵本 室町末（但し絵は剥落）。

西福寺 絵本 横本 江戸初二冊（◎○山本唯一『たかたち』影印翻刻、昭和54、文栄堂書店）。

岩瀬文庫 絵本 横本 寛文頃 三冊。

井田等 絵本 横本 江戸前三冊（●工藤早弓『奈良絵本下』平成9、京都書院）。

弘文荘11 絵本 二冊。

弘文荘20 絵本 元禄頃 三冊。

三都古典連合会 絵本 三冊。

思文閣155 絵巻 寛文延宝 三軸。

▽チェスター・ビーティー・ライブラリイ 絵巻 寛文 六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 二冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

35、一満箱王

A【寛永丹緑】内題「きりかみ會我」【TANROKUBON】。

B 天理図書館 伝浮世又平筆絵巻「きりかねそか」一軸（○北川忠彦「天理図書館蔵・絵巻〔きりかねそが〕」『女子大國文』101号、昭和62・6）。

36、元服曾我

A【寛永丹緑】【TANROKUBON】。【舞の本】。

B▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）。

37、和田酒盛

A【古活字丹緑】【TANROKUBON】。【舞の本】。

Bチェスター・ビーティー・ライブラリイ 絵本 半紙 江戸中 一冊。

一国会図書館 絵巻 一軸（三草紙絵巻四軸の内）。

内藤記念くすり博物館 絵本 横本（絵抜き） 江戸初 上巻のみ一冊（内藤記念くすり博物館EPO「収藏品デジタル

アーカイブ」<http://www.elsai.co.jp/museum/information/facility/archive/index.html>）。

静岡県立芹澤銈介美術館 絵本 横本 二冊。

石川透氏 絵本 横本 元禄頃 下巻のみ一冊（◎『古典資料研究』18）。

石川透氏？ 奈良絵本 断簡七枚。

弘文荘 36 絵本 貞享元禄頃 二冊。

一誠堂古書目録 73 平成 3 絵本 寛永 二冊。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 二冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓ 思文閣 183。

38、小袖 曾我

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B 国立国会図書館 絵本 横本 寛文延宝 一冊（国立国会図書館「ED」デジタルコレクション 古典籍資料（貴重書等）」
<http://dl.ndl.go.jp/#classic>）。

東京古典会平成 8 絵本 横本 江戸前 一冊（下冊のみ、挿絵二図） ↓ 架蔵。

臨川書店 古典籍特選優品目録平成 13 年 春秋特集号 絵本 横本 江戸前 一冊。

臨川書店 日本古書目録第 81 号平成 14 年 1 月 絵本 横本 江戸前 一冊。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓ 思文閣 183。

39、劍 讚嘆

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」。【舞の本】。

B ▽チェスター・ビーター・ライブラリー 絵巻 寛文 六軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内） ↓ 思文閣 183。

40、夜討曾我

A 【寛永丹緑】「TANROKUBON」、天理図書館、國學院大學。【舞の本】。

B 三の丸尚藏館 絵本大本 桃山江戸初 二冊(「富士の巻狩」「夜討曾我」「十番切」の三冊の内、前の二冊が「夜討曾我」に当たる。●『近世絵巻の興起―物語り絵の諸相』宮内庁、平成9)。

大阪大谷大学 絵本横本 江戸初 三冊 ①「幸若舞曲研究二」 大阪大谷大学図書館E7 「貴重図書を紹介」
<http://www.osaka-ohgani.ac.jp/facilities/library/valuables.html>。

大阪大谷大学 絵本横本 江戸初 中巻のみ一冊 (大阪大谷大学図書館E7 「貴重図書の紹介」
<http://www.osaka-ohgani.ac.jp/facilities/library/valuables.html>)

内藤記念くすり博物館 絵本横本 (絵抜き) 江戸初 上巻のみ一冊 (内藤記念くすり博物館E7 「收藏品デジタルアーカイブ」 <http://www.elsai.co.jp/museum/information/facility/archive/index.html>)。

東京都立中央図書館加賀文庫 絵本大本 江戸初 二冊。

箱根町立郷土資料館 絵巻 江戸前 三軸の内。

某家藏 絵巻 江戸初 三軸 (昭和47年6月25日於円珠庵『松泉堂書莊藏奈良絵本と絵巻展覧目録』大阪国文談話会)。

大阪青山歴史文学博物館 奈良絵巻 (『幸若舞曲研究十』に口絵図版)。

▽スペンサー・コレクション 絵巻 寛文一軸 (チェスタービーティーの絵巻と連れ)。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝二冊 (府内藩旧藏揃い本の内) ↓思文閣 183。

41、十番切

A 【舞の本】。

B 大阪大谷大学 絵本大本 江戸中二冊（大阪大谷大学図書館工）「貴重図書を紹介」

<http://www.osaka-ohgani.ac.jp/facilities/library/valuables.html>。

大阪青山歴史文学博物館 絵巻 二軸。

三の丸尚蔵館 絵本大本 桃山江戸初二冊（富士の巻狩」「夜討曾我」「十番切」の三冊の内、後の一冊が「十番切」に当たる。●『近世絵巻の興起―人物語り絵の諸相』宮内庁、平成9）。

明星大学図書館 絵巻 江戸前二軸。（○柴田雅生「明星大学蔵奈良絵巻『十番切』釈文」『明星大学研究紀要（言語文化学科）』15、平成19）。明星大学図書館工「絵本・絵巻の世界」

<http://ehon-tenaki.meisei-u.ac.jp/index.html>。

海の見える杜美術館 絵巻 江戸前二軸。

思文閣 134 絵巻 寛文延宝頃 二軸。

思文閣 140 絵巻 寛文延宝頃 二軸、134とは別本。

思文閣 155 絵巻 寛文延宝頃 二軸、134・140とは別本。

思文閣 173 絵巻 寛文延宝頃 二軸、134・140・155とは別本。

思文閣 178 絵巻 寛文延宝頃 二軸、134・140・155・173とは別本。

箱根町立郷土資料館 絵巻 江戸前三軸の内。

箱根神社 絵本大本 江戸前一冊（下欠）。

東京古典会昭和58 絵本大本 江戸前二冊↓大阪大谷大学。

▽日本大学総合学術情報センター 絵巻 江戸前 五軸の内。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 下のみ一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

42、張良

B 神戸杉原氏蔵 絵巻 江戸前一軸（伊藤正義氏の御教示）。

中京大学図書館 絵巻 江戸前一軸（絵抜き）（○柳沢昌紀「奈良絵本『張良』解題・翻刻」『中京大学文学部紀要』

4212、平成20）。

石川透氏 絵巻 寛文頃 断簡一枚。

東京古典会平成24 絵巻 寛文延宝 一軸（舞曲を絵巻にしたもので、現状は挿絵が抜かれている）↓中京大。

東京古典会昭和62 絵巻 江戸初一軸（「市丞朝倉氏重賢（印）」奥書、舞曲か不明）。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 一冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。

43、新曲

A 【寛永丹緑】 東洋文庫（○『幸若舞曲 御伽草子』昭和49、貴重本刊行会、國學院大學。【舞の本】。

B 横山重 絵本縦本 二冊（『本的美術史』による）。

井田等 絵本横本 江戸前二冊（●工藤早弓『奈良絵本（上）』平成9、京都書院）。

善通寺（尼崎） 絵巻 江戸前一軸（「秦武文公行業記」と改題、錯簡・欠落あり）。

石川透氏 絵本半紙本 元禄頃 挿絵断簡三枚。

フォレツチ・コレクション 絵本半紙本二冊。

國學院大學図書館 絵本横本 江戸前一冊。

明星大学図書館 絵本大本 江戸前二冊（○柴田雅生「明星大学蔵 奈良絵本『新曲』釈文」『明星大学研究紀要

（言語文化学科）』14、平成18。※『明星大学蔵絵入り和本の基礎的研究とWEB公開、教育実践への応用』

平成23。明星大学図書館H20「絵本・絵巻の世界」<http://ehon-emaki.meisei-u.ac.jp/index.html>）

愛知県立大学 絵本横本 元禄三冊（※長谷川端「愛知県立大学蔵奈良絵本『しんきょく』と『太平記』絵入り本」『武家の文物と源氏物語絵』平成24）。

臨川書店和洋古書善本特選目録春期待集号平成15年2月 絵本縦本 江戸前二冊。

臨川書店和洋古書善本特選目録春期待集号平成15年11月 絵本縦本 江戸前二冊。

臨川書店和洋古書善本特選目録春期待集号平成15年2月 絵巻 江戸前二軸（函書二條宮并御息所物語）。

臨川書店和洋古書善本特選目録春期待集号平成15年11月 絵巻 江戸前二軸（函書二條宮并御息所物語）。

臨川書店和洋古書善本特選目録夏期待集第16号平成20年6月 絵巻 江戸前二軸（函書二條宮并御息所物語）。

思文閣 208 絵巻 桃山頃 二軸。

思文閣 219 絵巻貼り交ぜ屏風 寛文延宝 六曲一双（全四十八面。詞書三十五面・挿絵十三面）。

二〇〇八年国際稀観本フェア 思文閣 絵本横本 元禄頃 三冊。

東京古典会平成20 絵本横本 元禄頃 三冊↓愛知県立大学。

▼海の見える杜美術館 絵本大本 寛文延宝 二冊（府内藩旧蔵揃い本の内）↓思文閣 183。